

豊島高等学校 令和6年度（1学年用） 教 芸 術 科 目 音 楽 I

教 科： 芸術 科 目： 音楽 I 単 位 数： 2 単 位

対象学年組： 第 1 学年 選択者

使用教科書： ( MOUSA1 )

教科 芸術 の 目 標：

【 知 識 及 び 技 能 】 芸術に関する表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【 思 考 力、判 断 力、表 現 力 等 】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【 学 び に 向 か う 力、人 間 性 等 】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科 目 音 楽 I の 目 標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力等】
・ 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識（楽典を含む）や技能（歌唱・器楽・創作）を十分に身に付けることができる。 ・ 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及び音楽の多様性について理解したうえで、自己の考えをもち、分かりやすく相手に伝えることができる。	・ 音楽を形づくっている要素（速度・リズム・強弱・構成・旋律など）や要素同士の関連を用いて、自己がイメージする表現をわかりやすく相手に伝えることができる。 ・ 音楽を形づくっている要素（速度・リズム・強弱・構成・旋律など）や要素同士の関連性を用いて、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりし、その内容を相手に分かりやすく伝えることができる。	・ 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組むことができる。 ・ 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するための学習活動に、主体的・共働的に取り組むことができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう</p> <p>【知識及び技能】 ・ 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解する。 ・ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・ 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>・ 楽典（音符・休符・拍子）</p> <p>・ 歌唱の姿勢や発声方法、言葉の発音</p> <p>・ 「校歌」歌唱指導 ・ 「校歌」実技テスト</p> <p>・ イタリア語の読み方と発音</p> <p>・ 「Omra mi fu」歌唱指導 ・ 「Omra mi fu」実技テスト</p> <p>題材内で使用する教材：PC端末、教科書、副教材、ワークシート</p>	<p>【知識及び技能】 ・ 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。（ワークシート） ・ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現することができる。（授業内観察・実技テスト）</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつことができる。（ワークシート）</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・ 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むことができる。（授業内観察・ワークシート）</p>	○	○	○	10
<p>B 表現を工夫してギターを演奏しよう</p> <p>【知識及び技能】 ・ 音名、音部記号、楽譜の書き方に関する知識を理解する。 ・ 曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解している。 ・ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもつ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・ 曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。</p>	<p>・ 音名（音名、音部記号、楽譜の書き方）</p> <p>・ ギターの基礎知識（パーツ名・各種奏法・TAB譜の読み方）</p> <p>・ 音階練習演奏指導</p> <p>・ 「月の光」「こげやマイケル」独奏の演奏指導</p> <p>・ 「夢の中へ」演奏指導</p> <p>題材内で使用する教材：PC端末、教科書、副教材、ギター、ワークシート</p>	<p>【知識及び技能】 ・ 音程の仕組みに関する知識を理解できている。（ワークシート・筆記試験）</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・ 身に付けた知識を応用し、演習や実技等に活用することができる。（ワークシート・筆記試験・実技試験）</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・ 内容への理解を深め、音程への興味、関心を深めることができる。（ワークシート・筆記試験）</p>	○	○	○	9
定期考査			○	○		1

<p>C 音階について理解しよう</p> <p>【知識及び技能】 ・音階の仕組みに関する知識を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・身に付けた知識を応用し、演習や実技等に活用する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ・内容への理解を深め、音階への興味、関心を深める。</p>	<p>・楽典（音階の仕組み、2つの音による音階、複音階、展開音階）</p> <p>題材内で使用する教材：PC端末、教科書、副教材、ギター、ワークシート</p>	<p>【知識及び技能】 ・音階の仕組みに関する知識を理解できている。（ワークシート・筆記試験）</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・身に付けた知識を応用し、演習や実技等に活用することができる。（ワークシート・筆記試験・実技試験）</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ・内容への理解を深め、音階への興味、関心を深めることができる。（ワークシート・筆記試験）</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>8</p>
<p>D 音階について理解しよう</p> <p>【知識及び技能】 ・音階の仕組みに関する知識を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・身に付けた知識を応用し、演習や実技等に活用する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ・内容への理解を深め、音階への興味、関心を深める。</p>	<p>・楽典（長音階・短音階、長音階の仕組み、短音階の仕組み、調号）</p> <p>題材内で使用する教材：PC端末、教科書、副教材、ギター、ワークシート</p>	<p>【知識及び技能】 ・音階の仕組みに関する知識を理解できている。（ワークシート・筆記試験）</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・身に付けた知識を応用し、演習や実技等に活用することができる。（ワークシート・筆記試験・実技試験）</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ・内容への理解を深め、音階への興味、関心を深めることができる。（ワークシート・筆記試験）</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>10</p>
<p>E ピアノの発展と西洋音楽史</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことに感じたこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。</p>	<p>・バロック時代の鍵盤音楽 J.S.バッハ作曲「平均律クラヴィア曲集」</p> <p>・古典派の鍵盤音楽 モーツァルト作曲、ベートーヴェン作曲「ピアノ・ソナタ」</p> <p>・ロマン派のピアノ曲 ショパン作曲「バラード」</p> <p>リスト作曲「パガニーニの主題による大練習曲（ラ・カンパネラ）」</p> <p>・近現代のピアノ曲 ドビュッシー作曲「沈める寺」 プロコフィエフ作曲「戦争ソナタ」 ライヒ作曲「ピアノ・フェイズ」 ケーン作曲「プリベドピアノのためのソナタとインターリュード」</p> <p>題材内で使用する教材：PC端末、教科書、副教材、ワークシート、DVD</p>	<p>【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことに感じたこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつことができる。（授業内観察・ワークシート）</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むことができる。（授業内観察・ワークシート）</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>12</p>
<p>F 発音や発声を工夫して声によるアンサンブルをつくらう</p> <p>【知識及び技能】 ・オノマトペを連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージを表現するために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け、創作で表現する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことに感じたこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもつ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ・オノマトペを連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。</p>	<p>・模範作品の演奏指導 ・模範作品の演奏発表</p> <p>・オノマトペを用いたリズムアンサンブル創作の説明 ・オノマトペを用いたリズムアンサンブル創作（グループ） ・活動シートの作成</p> <p>・グループでの作品発表</p> <p>題材内で使用する教材：PC端末、教科書、副教材、ワークシート</p>	<p>【知識及び技能】 ・オノマトペを連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関らせて理解できている。（発表・ワークシート）</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことに感じたこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもつことができる。（発表・ワークシート）</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ・オノマトペを連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組むことができる。（ワークシート）</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>6</p>
<p>定期考査</p>			<p>○</p> <p>○</p>	<p>1</p>
<p>G 和音について理解しよう</p> <p>【知識及び技能】 ・和音に関する知識を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・身に付けた知識を応用し、演習や実技等に活用する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ・内容への理解を深め、和音への興味、関心を深める。</p>	<p>・楽典（和音の仕組み、三和音、四和音、転回和音、終止、コードネーム）</p> <p>題材内で使用する教材：PC端末、教科書、副教材、ワークシート</p>	<p>【知識及び技能】 ・和音に関する知識を理解できている。（ワークシート・筆記試験）</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・身に付けた知識を応用し、演習や実技等に活用することができる。（ワークシート・筆記試験・実技試験）</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ・内容への理解を深め、和音への興味、関心を深めることができる。（ワークシート・筆記試験）</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>10</p>
<p>H 「コード進行」をもとにメロディーをつくらう</p> <p>【知識及び技能】 ・音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関らせて理解する。</p> <p>・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け、創作で表現する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、旋律、テクスチャ、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことに感じたこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもつ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ・音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。</p>	<p>・カノン進行を用いて作曲されている楽曲の鑑賞</p> <p>・コード進行のもとにしたメロディーの創作及び評価</p> <p>・歌詞の創作</p> <p>・作品発表・歌唱</p> <p>題材内で使用する教材：PC端末、教科書、副教材、ワークシート、キーボード、ギター</p>	<p>【知識及び技能】 ・音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関らせて理解できている。（授業内観察・ワークシート）</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、旋律、テクスチャ、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことに感じたこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもつことができる。（授業内観察・ワークシート）</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ・音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組むことができる。（授業内観察・ワークシート）</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>12</p>
<p>定期考査</p>			<p>○</p> <p>○</p>	<p>1</p>
				<p>合計 70</p>